

令和元年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

別紙1

(記入イメージ)

(環境省31-①)

施策名	5-7.国際観光資源の整備				担当部局名	自然環境局 総務課 国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課	作成責任者名 (※記入は任意)	総務課長 永島 徹也 国立公園課長 中尾 文子 国立公園利用推進室長 井上 和也 自然環境整備課長 池田 幸士					
施策の概要	美しい国立公園等の自然を持続的に活用し観光資源の整備等により、国内外の旅行者の地域での体験滞在の満足度の向上を図る。				政策体系上の位置付け	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進							
達成すべき目標	平成28年3月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げる2020年国立公園訪日外国人利用者数1000万人の目標を達成し、「観光先進国」の実現に貢献する。				目標設定の考え方・根拠	・明日の日本を支える観光ビジョン ・国際観光旅客税(仮称)の用途に関する基本方針等について(観光立国推進閣僚会議決定) ・自然公園法	政策評価実施予定時期	令和元年8月					
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値 年度ごとの実績値						測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠		
	基準年度	目標年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度				
1 国立公園訪日外国人利用者数	490万人	27年度	1000万人	令和2年度	-	-	-	-	-	-	1000万人	・政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき実施している「国立公園満喫プロジェクト」において、2020年に1000万人の目標を掲げているため。	
2 利用施設の多言語化	-	-	40施設	令和2年度	-	490万人	564万人	600万人	694万人	8施設	24施設	40施設	・国立公園の利用拠点であるビジターセンター等の施設を中心として、スマホアプリ、QRコード等のICTを駆使し、現地の自然・文化・歴史がにつながる奥深い多言語解説を面的に充実させる目標を定めたもの。
3 滞在環境の上質化に取り組んだ国立公園の利用拠点数	-	-	10拠点	令和2年度	-	-	-	-	-	-	5拠点	10拠点	・利用拠点計画に基づき、滞在環境の上質化に向けて、民間活力導入を前提とした廃屋撤去、インバウンド機能向上、文化的まちなみ改善の事業を実施することにより、国立公園利用者の体験滞在の満足度向上やリピーター増加に繋がることから、目標値として設定した。
4 野生動物観光促進事業の実施者数	-	-	20者	令和2年度	-	-	-	-	-	-	10者	20者	・訪日外国人にとって魅力的な野生動物を観察するツアーの開発を含めた野生動物観光を促進する事業を実施する者が増えることで、日本の野生動物観光の充実及び国外の認知度の向上につながることから、目標値に設定した。
5 一般公開に向けた改善に取り組んだ野生生物保護センター数	-	-	3施設	令和2年度	-	-	-	-	-	-	1施設	3施設	・傷病個体を収容している野生生物保護センターを一般公開し、日本の野生生物の保護の現場を訪日外国人旅行者に体験してもらうことで、日本における持続可能な観光の充実及び国外の認知度の向上につながることから、目標値に設定した。
6 ビジターセンター等機能強化	-	-	60施設	令和2年度	-	-	-	-	-	-	32施設	60施設	・国立公園の利用拠点であるビジターセンター等の情報提供機能を強化することにより、体験滞在の満足度向上やリピーターの増加等につながるため、機能強化の実施施設数を目標として定める。 ・自然を満喫できるアクティビティ等の情報を一元的に多言語で提供する機器等の整備、VR等のデジタル技術を活用した国立公園の理解を深める情報提供施設等の整備のいずれかを実施した場合には、1施設としてカウントする。

7	国立公園一括情報サイトのPV数	-	-	240万PV	令和2年度	-	-	-	-	-	200万PV	240万PV	・訪日外国人に対して、効果的・効率的な国立公園の情報発信を行うため、JNTOグローバルサイト内に国立公園の一括情報サイトを構築することとしており、当該サイトの情報発信状況を計る目標を定めたもの。
8	新宿御苑での国立公園情報への外国人の接触数	-	-	50%	令和2年度	-	-	-	-	-	-	50%	・新宿御苑における国立公園情報発信設備を設置した施設の外国人利用者の国立公園関心割合に関する目標を定めたもの。
達成手段 (開始年度)		予算額計(執行額)			当初予算額 元年度	関連する 指標	達成手段の概要等						平成31年 行政事業レビュー 事業番号
		28年度	29年度	30年度									
(1)	国立公園多言語解説等整備事業 (平成30年度)	-	-	250百万円 (…)	1000百万円	1,2	<p><達成手段の概要> 国立公園内における、訪日外国人利用者の体験滞在の満足度を向上させるため、利用者ニーズを踏まえ、ICT等の先進的技術を活用し、ビジターセンターをはじめとする拠点施設において分かりやすく魅力的な多言語解説及び情報発信の環境整備等を進める。</p>						新31-035
(2)	国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業 (令和元年)	-	-	-	1700百万円	1,3	<p><達成手段の概要> 国立公園の利用拠点における、訪日外国人利用者の滞在の満足度を向上させるため、地域の関係者で作成する利用拠点計画に基づき、滞在環境の上質化に向けて、民間活力導入を前提とした廃屋撤去、インバウンド機能向上、文化的まちなみ改善の事業を実施する。</p>						新31-034
(3)	野生動物観光促進事業 (令和元年)	-	-	-	660百万円	1, 4, 5	<p><達成手段の概要> 地域での訪日外国人の体験滞在の満足度を向上させるため、野生動物を観察するためのルール作りやツアーのインバウンド対応の充実、また、傷病個体を収容している野生生物保護センターの一般公開等の取組を推進し、野生動物を観察するツアーの充実を図っていく。</p>						新31-036
(4)	国立公園ビジターセンター等機能強化事業 (令和元年)	-	-	-	730百万円	1,6	<p><達成手段の概要> 国立公園内のビジターセンター等において、自然を満喫できるアクティビティ等の情報を一元的に多言語で提供する機器等の整備、VR等のデジタル技術を活用した国立公園の理解を深める情報提供施設等の整備を進める。</p>						新31-037
(5)	国立公園利活用促進円滑化事業 (令和元年)	-	-	-	440百万円	1,7	<p>日本の国立公園の認知向上及び誘客に向けて、JNTOグローバルサイト内のアクティビティ等の予約まで一気通貫で可能な国立公園一括情報サイトを構築するとともに、デジタルマーケティングを活用したプロモーションを行う。</p>						新31-038
(6)	国民公園訪日外国人旅行需要促進事業 (令和元年)	-	-	-	550百万円	1,8	<p>新宿御苑インフォメーションセンターをはじめとする既存施設を活用しつつ、苑全体を都心における情報発信拠点として総合的な国立公園の情報発信の強化を図る。具体的には全国34の国立公園に関する見どころやアクティビティに関する映像や自然体験の機会等を通じ、旅行中の訪日外国人等に対して、的確に日本の国立公園の魅力や利用情報を提供することで、国立公園への誘客を促進する。</p>						新31-039
施策の予算額・執行額		-	-	250百万円 (…)	5080百万円	施策に関する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)			観光ビジョン実現プログラム2018				